



東中だより

第5号

～チャレンジ目標～

【あいさつ・そうじ・自走】

宇部市立東岐波中学校

令和8年8月26日発行



CSシンボルマーク・きわぞう

ともに学び ともに成長する二学期

長かった夏休みもあっという間に終わり、いよいよ二学期がスタートしました。大きな事故や事件に巻き込まれることもなく、生徒たちは一回り成長した姿で元気に登校してきました。静かだった校舎にも、再び活気が戻っています。



始業式では、熊本地震や千葉豪雨で尊い命を失われた方々に黙祷を捧げ、今こうして豊かな日本に生まれ、生きていることへの感謝を胸に、目の前の学習や学校行事、部活動・習い事、地域活動などに本気で取り組んでいこうと話をしました。本気で取り組んでみて、面白くないことなど世の中に一つもないという思いを、生徒たちに伝えました。

二学期には、文化祭や三年生の修学旅行をはじめ、校外学習など社会や地域の方々とともに学ぶ多くの機会があります。教科の学習も含め、実り多い学期となるよう、教職員一同精一杯取り組んでまいります。保護者ならびに地域の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域とともに盛り上がった東岐波夏祭り

8月1日（土）、東岐波夏祭りが小学校の運動場で盛大に開催されました。オープニングでは、本校吹奏楽部が演奏を披露し、会場を大いに盛り上げました。放送や出店のお手伝いなどに、多くの生徒がボランティアとして協力しました。8時から盆踊りや仮装大会が行われ、亡くなられた方々への供養も行われました。



今年の仮装大会にも、生徒会が参加し、日本中を熱く盛り上げたサッカーワールドカップのスター選手になりきって登場し、見事大会2連覇を達成しました。



さらに、生徒会役員の皆さんからは、「大地震で被災した熊本県を応援したい」という思いから、賞金を寄付したいという申し出がありました。つきましては、生徒全員にも声をかけ、寄付を募りたいと考えております。各ご家庭におかれましても、ご協力を賜りますようお願いいたします。

協働で育む東岐波っ子の力

8月19日（水）、今年度初めての小中合同学校運営協議会を、東岐波ふれあいセンターにて開催しました。小中学校の全教職員と学校運営協議会委員の皆様にご参加いただきました。



はじめに、4部会（学力向上・生活向上・環境改善・情報発信）に分かれ、1学期の取組の報告を行い、続いて2学期以降の取組について確認と打合せを行いました。

その後、熟議「デジタル社会を生きる子どもたちに必要な力とは」をテーマに話し合いを行いました。この熟議は、1学期に小学校5年生と中学校2年生が地域の方々と取り組んだ「メディアとの上手な関わり方」を踏まえたもので、これから社会で生きていく子どもたちにとって欠かせない力であると考え、設定したものです。

各グループでは活発な議論が交わされました。

「SNS以上の楽しみを地域でつukれないか」「地域行事に積極的に参加してはどうか」「保護者同士のつながりを強めたい」「地域での共通ルールをつukれないか」など、多くの意見が出されました。



いただいたご意見を参考に、できることから一つずつ取り組み、学校・家庭・地域が協力しながら、『自ら社会とかかわり、自分を生かす東岐波っ子の育成』に努めてまいります。

挑戦を力に 次のステップへ

夏休み中に、各部活動の県大会が開催されました。今年は特にくじ運良く(?)、県優勝校や実力のあるチームと1回戦から対戦することとなり、上位進出はかないませんでした。しかし、どのチーム・個人も最後まで諦めることなく、大健闘を見せてくれました。今回の経験を糧に、今後の学校生活や活動に生かしてほしいと思います。また、1・2年生には、先輩の姿を心に刻み、新チームづくりに役立ててほしいと願っています。

なお、陸上競技部の〇〇 〇〇さんが男子400mで山口県代表として、8月8日（土）に鳥取県で行われた中国大会に出場しました。結果は予選4位で決勝進出はなりませんが、最後まで全力で走り抜きました。

